

## 持続可能な開発のための教育(ESD)

「ユネスコスクールのまち おおむた」市内全校がユネスコスクール加盟校として、持続可能な開発のための教育(ESD)教育に取り組んでいます。

4月には、「持続可能な開発のための教育(ESD)」愛称募集に多くのご応募ありがとうございました。

全国で4000件を超える応募の中から、3点入選。うち2点が大牟田の小・中学生でした。6月21日(土)東京で開催されたイベント(表彰式)で、大賞1点、優秀賞2点が発表され、愛媛県の小学6年生の作品「今日よりいいアースへの学び」が大賞に決定。優秀賞に輝いた2人の作品を紹介します。

「地球の未来をつくる学習」米生中学校2年 前田伊織くん

「地球みんなのためのプログラム」倉永小学校5年 角 沙織さん

これからも子どもの未来、地球の未来への学習を進めていきましょう。

## ユネスコスクールとして大切なこと

- ・ 国内外のユネスコスクール相互間のネットワークを介して、互いに交流相手の良さを認め合い、学び合うこと。
- ・ 地域の社会教育機関、NPO等との連携などを通じて、開かれたネットワークを築くよう努めること。
- ・ 校内外における各種研修の充実・活用を図るなど、ユネスコスクールの活動を通じて広く学校外にも働きかけ、我々人類社会が持続的に発展するよう心がけること。
- ・ 学校経営方針等にユネスコスクールの活動に取り組むことを明確に示し、学校全体で組織的かつ継続的にユネスコスクールの活動に取り組みやすくすること。
- ・ ユネスコスクールの活動を自ら学校評価の項目に盛り込み、活動の質の向上に努力すること。
- ・ 必要に応じ、ASPUivNet加盟大学をはじめとする高等教育機関の支援や協力を得ながら、ユネスコスクールの活動の充実に努めること。

※平成24年8月20日 日本ユネスコ国内委員会  
ユネスコスクールガイドラインより



## 大牟田市立天領小学校の実践

### 「地域遺産」の学習を通して

天領小学校では、「校区よかところ巡り」などを通して、校区の昔の様子や文化財について調べ、地域遺産の価値や人々の思いにふれ、それらを守り伝えるにはどうすればよいかを考えるようにしています。そうした学びを生かし、高学年では、大牟田全体に視野を広げ、世界遺産登録に向けた取組、エネルギーのまちづくりの取組の中で、自分たちができることを考え、提案や発信、行動をしていこうとしています。



## 大牟田市立右京中学校の実践

### 「大牟田の食文化」を通して

本校の2年生のテーマは「郷土の未来」学習です。平成25年度は大牟田の食文化について取り組み、地域の食材や郷土料理のよさ、食を通じた地域とのつながりを学びました。調べた題材は「お好み焼き」「かすてら饅頭」「醤油・みそ」。ありあけ新世学校 鉄板部さん、菊水堂さん、マルナガ醤油さんからそれぞれ講師の方をお招きし、講話を聞いたり、実際にかすてら饅頭や醤油作りに挑戦したりしました。醤油作りには1年かかるそうで現在3年生となった生徒たちは、卒業までに「右京醤油」の完成を目指しています。

